

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	日常生活の指導	① 道徳「どうとく   きみがいちばんひかるとき」(光村書店)			
目標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするができる。	学級 個別	156
1学期授業時数					156
2 学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするができる。	学級 個別	180
2学期授業時数					180
3 学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするができる。	学級 個別	84
3学期授業時数					84
総授業時数					420

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学年・学年 種別	教科等	教科書	単元	単元目標	授業形態	時数	
中学校 第3学年	生活単元学習	①社会「やかいのなびと」(評論社) ②国語「ワスレモノのふし」(こぼれちり)【小学館】 ③国語「わたしのあそび」(評論社) ④職業「家」【こどもこぼれちり】(女子美術大)	単一型				
目標				(知) 様々な体験や活動を通して、社会生活や集団生活に必要な知識や技能を身に付ける。 (意) 身の回りの生活のこぼれ、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解を深めるとともに、自分の考えを表現したり、選択したりする力をつける。 (学) 人や物と関わりながら、最後まで意欲的に学ぼうとする態度を身に付ける。			
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数		
1 学期	「2年生を頑張ろう」 ・自己紹介、個人、学年目標の設定 ・1学期の行事等について		(知) 学校のルールや学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (意) 行事の内容を理解し、自分で楽しみ行事等を発表したり、友達を発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達など自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学校をより良いものにしていくことができる。	学級	2		
	「新入生歓迎会」 ・準備、新入生歓迎会		(知) 新しく入学する友達について知ることができる。 (意) 新入生に誘ってもらったための工夫を考えたり、どのようなことが必要かを考えたりすることができる。 (学) 新入生の入学を祝う気持ちをもちることができる。	学級 学級	2		
	「チャレンジタイム」 ・学校の実践に応じた指導 ・調理、買物、季節の学習、おもてなし ・公民館通いの学習など		学校の実践に応じた指導目標	学級	9		
	「育てて食べよう」【食育】 ・自分で作る方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 ・観察記録		(知) 野菜の育つ時期やジャケルなどの道具の扱い方、道具を自分で使う方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 (意) 必要な道具を選択しながら活動することができる。 (学) 植物の成長について知り、観察をしたり、触ったり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気づき、成長の様子を表現することができる。 (学) 毎週の野菜の栽培を通して、自然や植物を大切にしようとする意識をもつことができる。	学級	2		
	「不思議を見つけてよう」 ・電気の流れについて ・簡単な実験など	③	(知) 電気を通すつなぎ方など、通さないつなぎ方があることや電気を通すものを通さないものがあることを知る。 (意) 身近な生活環境で、電気がどのように関わっているかに気づいたり、疑問に思ったりすることができる。 (学) 友達と一緒に実験したり、エネルギーの無駄遣いを減らすために工夫したりし、社会のために良い行動を取ろうとする意識をもつことができる。	学級	6		
	「調理しよう」【調理】 ・ゆでて作る調理	④	(知) 調理の手順を考えたり、準備から片付けまでの工程の見通しをもつことができる。 (意) ゆでるに使う道具の使い方を理解することができる。 (学) 安全に調理しようとの掛けたり、様々な調理の仕方を自分なりに工夫しようとする意識をもつことができる。 (学) 調理の工程や料理の出来上がり、味、食べ方について関心をもち、自分で調理しようという意欲をもつことができる。	学級	8		
	「日本と外国について知ろう」 ・日本と外国の地図やマナー、行事について ・日本との違い	①②	(知) 日本と外国の文化について知り、日本との違いを知ることができる。 (意) 異文化マナー、行事などについて日本のものと比較したり、気づきを生かして行動に気づいたり、感じたりすることができる。 (学) 学習したことを日常で生かそうとする意識をもつことができる。	学級	6		
	「甲子園まつりを頑張ろう」 ・舞台発表の練習、買物計画練習など		(知) 集団での簡単な役割について理解し、行動することができる。 (意) 文化祭の役割に気づき、自分のできることを考える。 (学) ままを守ることの大切さを考えたり、自分の役割を考え、表現したりすることができる。 (学) 場面にあった行動や表現をしようとする意識をもつことができる。 (学) 友達と協力することの大切さに気づき、よりよい関係を築こうとする意識をもつことができる。	学年 学級 グループ	2		
	「1学期を振り返ろう」 ・頑張ったね、教室掃除、1学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を生かして、発表することができる。 (意) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2		
	1学期授業時数						39
2 学期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学年の目標設定 ・2学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (意) 行事の内容を理解し、自分で楽しみ行事等を発表したり、友達を発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達など自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学校をより良いものにしていくことができる。	学級	2		
	「甲子園まつりを頑張ろう」 ・舞台発表の練習、店舗練習など		(知) 集団での簡単な役割について理解し、行動することができる。 (意) 文化祭の役割に気づき、自分のできることを考える。 (学) ままを守ることの大切さを考えたり、自分の役割を考え、表現したりすることができる。 (学) 場面にあった行動や表現をしようとする意識をもつことができる。 (学) 友達と協力することの大切さに気づき、よりよい関係を築こうとする意識をもつことができる。	学年 学級 グループ	7		
	「留学旅行を頑張ろう」【校外学習】 ・役割決め、しおり学習 ・留学について調べる ・事後学習など	②	(知) 見学地の地理や文化などを知ることができる。 (意) 買物の計画を立てることができる。 (意) 友達と協力して見学地の地理や文化などを調べ、まめめ、発表することができる。 (学) 公共の場所、交通ルールやマナーを学び、集団行動を今後の生活に生かそうとする意識をもつことができる。	学年 学級 グループ	14		
	「運動会を頑張ろう」 ・事前学習、招待状作り、ポスター作り ・事後学習		(知) 運動会の競技内容や日程、練習日程等が分かり、見本を参考に練習をすることができる。 (意) 運動会友達と協力して頑張ったことが分かる。 (意) 招待状の作りかたなどを表現したり、招待状作りで工夫して伝えようとしていくことができる。 (学) 運動会頑張ったことや感じたこと等を表現することができる。 (学) 運動会に向けて意欲的になり、楽しみにしたりすることができる。 (学) 運動会を振り返り、次の行事を頑張ろうとすることができる。	学級 学級	4		
	「チャレンジタイム」 ・学校の実践に応じた指導 ・調理、買物、季節の学習、おもてなし ・公民館通いの学習など		学校の実践に応じた指導目標	学級	7		
	「育てて食べよう」 ・2つまひもの収穫 ・2つまひもの調理		(知) 調理の手順を考えたり、準備から片付けまでの工程の見通しをもつことができる。 (意) 安全に調理しようとの掛けたり、様々な調理の仕方を自分なりに工夫しようとする意識をもつことができる。 (学) 調理の工程や料理の出来上がり、味、食べ方について関心をもち、自分で調理しようという意欲をもつことができる。	学級 グループ	9		
	「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね、教室掃除、2学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を生かして、発表することができる。 (意) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2		
	2学期授業時数						45
	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学年の目標設定 ・3学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (意) 行事の内容を理解し、自分で楽しみ行事等を発表したり、友達を発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達など自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学校をより良いものにしていくことができる。	学級	1		
	「ありがとうの会しよう」 ・内容を決める、招待状作り ・会場準備		(知) 行事について知り、感謝の気持ちを表現することの意味や、場面に応じたふさわしい具体的な行動について知ることができる。 (意) 行事の意味を理解し、感謝の気持ちを言葉にしたり、文章にしたりすることができる。 (学) 友達など自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力してより良いものにしていくことができる。	学級	6		
「卒業に向けて頑張ろう」 ・卒業式を送る会 ・卒業証書授与式練習 ・卒業証書授与式練習		(知) 卒業に向けた取組め、見通しをもつことができる。 (意) 卒業式に向けて自分で考えて行動しようとする意識をもつことができる。 (学) 卒業に向けて期待感をもつことができる。	学年 学級 グループ	7			
「おたのしみ会しよう」 ・おたのしみ会 ・調理、買物、季節の学習 ・おもてなし		(知) 自分や友達が好きで、やりたいたいことを知ることができる。 (意) 自分や友達の目的を理解し、進んで準備をしたり、会に参加したりすることができる。 (学) 友達など自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学校をより良いものにしていくことができる。	学年 グループ	5			
「3年生を振り返ろう」 ・頑張ったね、教室掃除		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を生かして、発表することができる。 (意) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、高学年進学へ意欲を高めることができる。	学級	2			
3学期授業時数						21	
総授業時数						105	

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	作業学習 (クラフト)			
目標	<p>(知) クラフト製品の製作を通して、働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、実践することができる。</p> <p>(思) クラフト製品の製作を通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。</p> <p>(学) クラフト製品の製作を通して、働くことへの関心を高め、責任を持って自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「牛乳パックで紙を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳パックを切る。</li> <li>ラミネートを剥がす。</li> <li>シュレッダーで細断する。</li> <li>紙の重さや水のかさを測る。</li> <li>ミキサーで攪拌する。</li> <li>紙すきをする。</li> <li>水気を取る。</li> <li>アイロンを掛ける。</li> <li>できた個数等の報告をする。</li> </ul>	<p>(知) 紙を作るための工程や各工程で使用する道具の使い方を知り、手順を理解して作業を進めることができる。</p> <p>紙や水の量などを正確に計測することができる。</p> <p>(思) 自分の作業量を決めたり、やりやすい方法を考えたりすることができる。</p> <p>(学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとしたり、時間いっぱい作業をしたりすることができる。</p>	学級 グループ	39
1 学期授業時数				39
2 学期	<p>「共同で作品を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はさみやカッターで規格の大きさに切る。</li> <li>型抜きパンチをする。</li> <li>文字を書く。</li> <li>色を付ける。</li> <li>マス目に合わせて貼る。</li> </ul> <p>①四角や三角に切った葉書き、攪拌した状態を形に合わせて乾かし、模様をデザインする。</p> <p>②動物シルエットに四角に切った葉書きのパーツでデザインする。</p> <p>①②を1年ごと交代で取り組む。</p>	<p>(知) 正しく道具を使うことができる。</p> <p>紙や水の量などを正確に計測することができる。</p> <p>(思) 自分の得意な工程を見付け、友達と関わりながら物を作ることができる。</p> <p>加工するものが作品になっていくことが分かる。</p> <p>(学) 友達と協力しながら物を作ることで、達成感を味わうことができる。</p>	学級 グループ	45
	<p>「個人作品を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真立てや容器などを作成する。</li> <li>はさみやカッターで規格の大きさに切る。</li> <li>型抜きパンチをする。</li> <li>のりで貼る。</li> <li>文字を書く。</li> <li>作品を鑑賞する。</li> <li>頑張り発表をする。</li> </ul>	<p>(知) 正しく道具を使うことができる。</p> <p>紙や水の量などを正確に計測することができる。</p> <p>(思) 素材や色等を考えながら作品を作ることができる。</p> <p>(学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする事ができる。</p>	学級 グループ	
	<p>「中学部マーケットに向けて製品をつくらう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーナメント製作</li> <li>はがきの製作</li> </ul>	<p>(知) 1年生に向けて販売することを知り、製品を作ることができる。</p> <p>(思) 販売するために目的をもったり、丁寧に作ろうと意識したりすることができる。</p> <p>(学) 販売に向けて意欲を高めることができる。</p>	学級 グループ	
2 学期授業時数				45
3 学期	<p>「中学部マーケット」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売に向けた準備等</li> <li>販売</li> </ul>	<p>(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践したりすることができる。</p> <p>(思) 販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫することができる。</p> <p>(学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。</p>	学部 学級 グループ	4
	<p>「牛乳パックで紙を作ろう」</p> <p>「共同で作品を作ろう」</p> <p>「個人作品を作ろう」</p>	<p>(知) 正しく道具を使うことができる。</p> <p>紙や水の量などを正確に計測することができる。</p> <p>(思) 自分の得意な工程を見付け、友達と関わりながら物を作ることができる。</p> <p>加工するものが作品になっていくことが分かる。</p> <p>(学) 友達と協力しながら物を作ることで、達成感を味わうことができる。</p>	学級 グループ	17
3 学期授業時数				21
総授業時数				105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	作業学習 (園芸)			
目標	<p>(知) 栽培活動を通して、働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、慣れることができる。</p> <p>(思) 栽培活動を通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。</p> <p>(学) 栽培活動を通して、働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
通年	「畑・プランターの管理をしよう」 ・水やり ・間引き	<p>(知) 水やりや草取りの方法を知り、道具を安全に使うことができる。</p> <p>(思) 水やりをするタイミングを判断したり、雑草やわき芽、間引き菜を見分けたりすることができる。</p> <p>(学) 野菜の栽培を通して、植物の成長に気付いたり、思いやりをもって育てようとしたりすることができる。</p>	学級グループ	
	「牡蠣殻で肥料を作ろう(雨天時)」	<p>(知) 肥料作り方法を知り、道具を安全に使うことができる。</p> <p>(思) たたく強さや回数を調整して、適度な大きさの肥料を作ろうとすることができる。</p> <p>(学) 友達や教師と協力して、肥料作りをすることができる。</p>	学級グループ	
1学期	「夏野菜(なす・ピーマン)を育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方法) ・農具の扱い方 ・苗植え ・水やり ・はさみを使用した収穫	<p>【畑作り】</p> <p>(知) 畑作りがなぜ必要かを理解したり、使用する道具等の名前や安全な使い方を覚えたり、肥料の意味を理解したりすることができる。</p> <p>(思) 場面によって使う道具を選択したり、道具の使い方を工夫しようとしたりすることができる。</p> <p>(学) 友達や教師と一緒に協力して、畑作りをすることができる。</p>	学級グループ	15
	「えんどう豆・そら豆・玉ねぎ・じゃがいもを収穫しよう」 ・収穫の仕方	<p>【収穫】</p> <p>(知) 手やはさみ等を使用して、丁寧に野菜の収穫をすることができる。</p> <p>野菜の種類によって収穫物ができる場所が違うことを理解することができる。</p> <p>(思) 実と葉を見分け、野菜によって収穫の仕方が違うことを理解し、野菜に合った収穫方法で収穫しようとする。</p> <p>(学) 収穫することに喜びを感じ、次の野菜の栽培へ意欲を高めることができる。</p>	学級グループ	13
	「さつまいもを育てよう」 ・苗植え ・水やり	<p>【苗植え】</p> <p>(知) 苗によって植え方の留意点や茎の向き、植える場所、手順などを理解して植えることができる。</p> <p>道具を安全に扱うことができる。</p> <p>(思) 苗の茎等を折らないよう気付けたり、道具等を使って丁寧に植えようとしたりする。</p> <p>(学) 野菜の栽培を通して、植物の成長に気付いたり、思いやりをもって育てようとしたりすることができる。</p>	学級グループ	11
1学期授業時数				39
2学期	「大根・人参を育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方法) ・種まき ・水やり ・収穫	<p>【種まき】</p> <p>(知) 種によって植え方の留意点や種への向き、植える場所、手順などを理解して植えることができる。</p> <p>道具を安全に扱うことができる。</p> <p>(思) 種の植え方の違いを理解し、留意点に気を付けようとしることができる。</p> <p>(学) 野菜の栽培を通して、植物の成長に気付いたり、思いやりをもって育てようとしたりすることができる。</p>	学級グループ	12
	「ブロッコリー・水菜・えんどう豆・そら豆・玉ねぎを育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方法) ・苗植え ・水やり ・はさみを使用した収穫		学級グループ	21
	「さつまいもを収穫しよう」 ・シャベルを使用した収穫		学級グループ	12
2学期授業時数				45
3学期	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売	<p>(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を実践したりすることができる。</p> <p>(思) 販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫することができる。</p> <p>(学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。</p>	学部学級グループ	4
	「じゃがいもを育てよう」 ・種手植え ・水やり	<p>(知) じゃがいもが育つまでの流れや、種手植え・水やりの基本的な方法や留意点を知り、道具を安全に扱いつつ取り組むことができる。</p> <p>(思) 場面によって使う道具を選択したり、道具の使い方を工夫しようとしたりすることができる。</p> <p>(学) じゃがいもを育てる活動に関心をもち、意欲をもって栽培活動に取り組むことができる。</p>	学級グループ	17
3学期授業時数				21
総授業時数				105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	作業学習 (手工)			
目標	<p>(知) 手芸や工芸の製作を通して、働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、慣れることができる。</p> <p>(思) 手芸や工芸の製作を通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。</p> <p>(学) 手芸や工芸の製作を通して、働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
通年	「個人作業」 ・刺し子 ・ビーズ通し ・ステンシル ・リングはめ ・アイロンビーズ	(知) 基本的な道具の使い方を理解し、安全に扱ったり、正確さなどの技能を高めたりすることができる。 (思) 作品などのデザインを考えたり、使用する道具や材料を選んだりして、完成品のイメージをもつことができる。 (学) 得意な活動を見付けたり、やりがいを感じたりするなど、創作意欲を高めることができる。 決められた時間集中して作業をすることができる。	学級 グループ	
1 学期	「基礎練習をしよう」 基礎練習や小物作り(コースター、ポケットティッシュカバー、ランチョンマット) ・ミシン掛け ・アイロン掛け ・布の裁断 ・印付け ・ボタン付け ・縫製	(知) 基本的な道具の使い方を理解し、安全に扱うことや、基礎的な技術を習得することができる。ミシンやアイロンなどの操作手順や留意点を理解し、安全に扱うことができる。 (思) 友達や教師に報告したり、周りの様子を見て行動したりすることができる。 工程ごとの完成物をイメージしながら印付けや裁断、ミシン、アイロンなどの作業を進めることができる。 (学) 自分でできることを見付け、一つの製品を作っていることが分かる。	学級 グループ	39
1学期授業時数				39
2 学期	「パソコンカバーを作ろう(共同製作)」 ・仕事分担 ・作業の流れ確認 ・布の裁断 ・印付け ・縫製 ・アイロン仕上げ	(知) 各工程を理解し、自分が担当するグループの作業を、安全に道具を扱いながら進めることができる。 (思) 友達や教師に報告したり、周りの様子を見て行動したりすることができる。 (学) 製作物の完成イメージを描きながら印付けや裁断、ミシン、アイロンなどの作業を進めることができる。	学級 グループ	33
	「個人作品を作ろう」 ・印付け ・布の裁断 ・縫製 ・飾り付け	(知) 描いたデザインを、刺し子の技法やミシン、アイロンを使って製作することができる。 (思) 製作物のデザインをイメージし、描いたり、教師に伝えたりすることができる。 (学) 物を作る喜びを味わうことができる。	学級 グループ	12
2学期授業時数				45
3 学期	「パソコンカバーを作ろう(共同製作)」 ・仕事分担 ・作業の流れ確認 ・布の裁断 ・印付け ・縫製 ・アイロン仕上げ	(知) 各工程を理解し、自分が担当するグループの作業を、安全に道具を扱いながら進めることができる。 (思) 友達や教師に報告したり、周りの様子を見て行動したりすることができる。 (学) 製作物の完成イメージを描きながら印付けや裁断、ミシン、アイロンなどの作業を進めることができる。	学級 グループ	9
	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売	(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践したりすることができる。 (思) 販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫することができる。 (学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 学級 グループ	4
	「個人作品を作ろう」 ・縫製 ・飾り付け ・仕上げ ・作品発表会	(知) 描いたデザインを、刺し子の技法やミシン、アイロンを使って製作することができる。 (思) 製作物のデザインをイメージし、描いたり、教師に伝えたりすることができる。 (学) 物を作る喜びを味わうことができる。	学級 グループ	8
3学期授業時数				21
総授業時数				105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	作業学習 (陶芸)			
目標	<p>(知)ものづくりを通して、働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、慣れることができる。</p> <p>(思)ものづくりを通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさで報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。</p> <p>(学)ものづくりを通して、働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「小皿を作ろう(個人製作)」 ・小皿作りの全工程(伸ばし、型取り、成形)を経験し、小皿作りへの見通しをもつ。 ・個人で、小皿の成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・小皿のこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包)を行う。	(知)粘土の扱い方や小皿の作り方を理解したり、道具を安全に扱ったりすることができる。 粘土を均一に伸ばす、正確に切り取るなどの技能を高めることができる。 (思)道具の使い方を工夫しようとするすることができる。 次の工程へ移ることができる状態を判断することができる。 (学)小皿を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする可以尝试することができる。 使う相手をイメージして制作することができる。	学級 グループ	24
	「中皿、箸置きを作ろう(個人製作)」 ・中皿作りの全工程(伸ばし、型取り、成形)を経験し、中皿作りへの見通しをもつ。 ・個人で、中皿の成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、中皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・中皿のこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等	(知)粘土の扱い方や中皿や箸置きの作り方を理解したり、道具を安全に扱うことができる。 粘土を均一に伸ばす、正確に切り取るなどの技能を高めることができる。 (思)道具の使い方を工夫しようとする可以尝试することができる。 次の工程へ移ることができる状態を判断することができる。 (学)中皿や箸置きを作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする可以尝试することができる。 使う相手をイメージして制作することができる。	学級 グループ	15
1学期授業時数				39
2 学期	「協力して小皿、中皿、箸置きを作ろう(分業)」 ・小皿、中皿作りについて、作業工程ごとにグループで分かれ、分業作業を行う。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・小皿、中皿のこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包)を行う。 ・箸置きの製作をする。 ・中学部マーケットに向けた製品作りを行う。	(知)自分の担当する作業に時間いっぱい集中することができる。 中学部マーケットについて知り、製品を作ることができる。 (思)次の工程へ移ることができる状態を判断することができる。教師や友達に報告することができる。 中学部マーケットに向けて、丁寧に製品を作ろうとすることができる。 (学)友達と協力して作ることを理解し、関わったり、達成感を感じたりすることができる。 言葉を添えて相手に仕事を受け渡すことができる。	学級 グループ	30
	「共同製作をしよう」 ・展示に向けた取組をする。	(知)共同製作を展示することを知ることができる。 (思)共同製作について知り、自分の役割を果たそうとすることができる。 (学)関わったり、達成感を感じたりすることができる。 言葉を添えて相手に仕事を受け渡すことができる。	学級 グループ	12
	「コップを作ろう(個人製作)」 ・コップ作りの全工程(伸ばし、型取り、成形)を経験し、コップ作りへの見通しをもつ。	(知)粘土の扱い方やコップなどの立体作品の作り方を理解し、道具を安全に扱うことができる。 (思)道具の使い方を工夫しようとする可以尝试することができる。 次の工程へ移ることを判断することができる。 (学)コップを作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする可以尝试することができる。 使う相手をイメージして制作することができる。	学級 グループ	3
2学期授業時数				45
3 学期	「コップを作ろう(個人製作、分業)」 ・個人でコップの成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・コップのこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包)を行う。 ・分業でコップの成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・コップのこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包)を行う。	(知)作業工程の中の自分の役割を理解し、自分の担当する作業に時間いっぱい集中することができる。 (思)粘土の状態を自分で確認し、次の工程へ移ることができる状態を判断することができる。 教師や友達に作業経過を報告することができる。 (学)友達と協力して作ることを理解し、関わったり、達成感を感じたりすることができる。	学級 グループ	17
	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売	(知)販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践したりすることができる。 (思)販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫することができる。 (学)販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 学級 グループ	4
3学期授業時数				21
総授業時数				105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	国語 (A)	①ゆっくり学ぶ子のための「こくご」I (改訂版) (同成社)			
目標	<p>(知) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。</p> <p>(思) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。</p> <p>(学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「読み書き指導」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いたマッチングをする。	①	(知) 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 (思) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	個別	
1 学期	「いろいろな言葉を知ろう7」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・日常生活で使用する言葉(挨拶、動詞・名詞等)の学習を行う。	①	(知) 身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思) 日常生活でよく使われる表示などの特徴に気づき、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	17.5
	「はがきに書こう5」 ・暑中見舞い用のはがきに、文字を書いたり、文字シールを貼ったり、ハンコを押したりする。		(知) 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 (思) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	2
1学期授業時数					19.5
2 学期	「物語に親しもう3」【読書指導】 ・絵本や写真、映像に示された身近な事物や生き物等に注目する。 ・物語に出てくる人物や物の名称を理解する。 ・物語の一場面や登場人物の動きを模倣する。	①	(知) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10
	「いろいろな言葉を知ろう8」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・平仮名文字の読み書きをする。 ・日常生活で使用する言葉(挨拶、動詞、名詞等)を用いて、他者とやり取りの学習を行う。 ・シンボルマークや○や×、矢印等の簡単な記号を理解する。	①	(知) 身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思) 日常生活でよく使われる表示などの特徴に気づき、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
	「はがきに書こう6」 ・年賀状(寒中見舞い)用のはがきに、文字を書いたり、文字シールを貼ったり、ハンコを押したりする。		(知) 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付ける。 (思) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	2
2学期授業時数					22.5
3 学期	「いろいろな言葉を知ろう9」 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・平仮名文字の読み書きをする。 ・日常生活で使用する言葉(挨拶、動詞・名詞等)を用いて、他者とやり取りの学習を行う。 ・シンボルマークや○や×、矢印等の簡単な記号を理解する。	①	(知) 身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思) 日常生活でよく使われる表示などの特徴に気づき、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	国語(B)	①ゆっくり学ぶ子の「こくご」3(改訂版)(同成社)			
目標	<p>(知) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>(思) 出来事の順序を思い出す力や感じたり、想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。</p> <p>(学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「読み書き指導」 ・平仮名、片仮名、漢字の読み書きをする。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	個別	
1 学期	「いろいろな言葉を知ろう7」 ・平仮名・片仮名の読み書きをする。(清音・濁音・半濁音・促音・長音・拗音など) ・身近な人物や物の名称を理解する。 ・動詞や形容詞、助詞などを理解する。 ・かるたを作成する。	①	(知) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	17.5
	「はがきに書こう5」 ・暑中見舞いの形式を知る。 ・はがきに文字を書いたり、絵を描いたりする。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたいことについて、簡単な語句や文を書くことができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	2
1学期授業時数					19.5
2 学期	「物語に親しもう3」【読書指導】 ・物語の読み聞かせを聴く。 ・声を出して読み、登場人物や簡単な物語の内容を理解する。 ・「誰が」「どこで」「何を」「どうした」の質問に答えたり、感想を話したりする。	①	(知) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子を想像することができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10
	「作文を書こう3」 ・学校生活の思い出についての短い作文を書く。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、伝えたい事柄の順序を考えたり、簡単な語句や文を書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 グループ 個別	2
	「いろいろな言葉を知ろう2」 ・平仮名・片仮名の読み書きをする。(清音・濁音・半濁音・促音・長音・拗音など) ・身近な人物や物の名称を理解する。 ・動詞や形容詞、助詞などを理解する。 ・かるたを作成する。	①	(知) 日常生活でよく使う促音、長音、などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	8.5
	「はがきに書こう6」 ・年賀状(寒中見舞い)の形式を知る。 ・はがきに文字を書いたり、絵を描いたりする。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたいことについて、簡単な語句や文を書くことができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	2
2学期授業時数					22.5
3 学期	「やり取りの学習をしよう3」 ・教師や友達に挨拶をしたり、簡単な問い掛けに答えたりする。	①	(知) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思) 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができる。 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	4
	「いろいろな言葉を知ろう6」 ・平仮名・片仮名の読み書きをする。(清音・濁音・半濁音・促音・長音・拗音など) ・身近な人物や物の名称を理解する。 ・動詞や形容詞、助詞などを理解する。 ・かるたを作成する。 ・かるた、絵カード取りをする。		(知) 日常生活でよく使う促音、長音、などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を身に付ける。	学級 個別	6.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	国語 (C)	①ゆっくり学ぶ子の「こくご」4 (改訂版) (同成社)			
目標	<p>(知) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。</p> <p>(思) 順序立てて考える力や感じたり、想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「読み書き指導」 ・平仮名、片仮名、漢字、ローマ字の読み書きをする。	①	<p>(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書くことができる。</p> <p>自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	個別	
1 学期	「文学的文章に親しもう1」【読書指導】 ・物語や詩を読み、大まかな内容を理解する。 ・声に出して読み、登場人物や読み手の気持ちを想像する。 ・「誰が」「どこで」「何を」「どうした」の質問に答えたり、感想を話したりする。	①	<p>(知) 話のまとまりに気を付けて音読したり、事柄の順序など、情報と情報との関係について理解したりすることができる。</p> <p>(思) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	15.5
	「作文を書こう3」 ・学校生活の思い出についての作文を書き、発表する。	①	<p>(知) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解することができる。</p> <p>(思) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えたり、文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	2
	「はがきに書こう5」 ・暑中見舞いの形式を知る。 ・はがきの枠内に、丁寧に文字を書く。		<p>(知) 書き言葉と話し言葉の違いに気を付けて、丁寧な言葉を使ったり、季節に応じた表現があることを知ったりすることができる。</p> <p>(思) 伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	2
1 学期授業時数					19.5
2 学期	「言葉遊びをしよう3」 ・俳句の形式を知る。 ・季節を探る。 ・俳句を詠む。 ・俳句を作り、発表する。	①	<p>(知) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり、作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。</p> <p>(思) 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつことができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	10
	「説明的文章を読もう3」【読書指導】 ・説明文を読み、大まかな内容を理解する。 ・声に出して読み、作者の主張を読み取る。 ・「誰が」「どこで」「何を」「どうした」の質問に答えたり、感想を話したりする。	①	<p>(知) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。</p> <p>話のまとまりに気を付けて音読することができる。</p> <p>(思) 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	10.5
	「はがきに書こう3」 ・年賀状(寒中見舞い)の形式を知る。 ・はがきの枠内に、丁寧に文字を書く。		<p>(知) 書き言葉と話し言葉の違いに気を付けて、丁寧な言葉を使ったり、季節に応じた表現があることを知ったりすることができる。</p> <p>(思) 伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	2
2 学期授業時数					22.5
3 学期	「やり取りの学習をしよう3」 ・面接の形式を知る。 ・質問に対して、丁寧な言葉遣いで答える。	①	<p>(知) 身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。</p> <p>電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話すことができる。</p> <p>(思) 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつことができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	7.5
	「手紙を書こう3」 ・家族や友達、お世話になった人に簡単な手紙を書く。	①	<p>(知) 書き言葉と話し言葉の違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。</p> <p>(思) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考慮することができる。</p> <p>(学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を身に付ける。</p>	学級 グループ 個別	3
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	数学(A)	①ゆっくり学ぶ子の「さんすう」2(同成社)			
目標	(知)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き、理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「数と計算の学習をしよう5」 (数と計算) ・同じ・多い・少ないについての学習 ・1対1対応、1対多対応 ・ものの数と数詞を対応させること ・ものの数や数詞と数字を対応させること ・ものを数えたり、書き表したりすること ・数の大きい小さいが分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	(知)5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付ける。 (思)日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。 (学)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 グループ 個別	10.5
	「図形の学習をしよう3」 (図形) ・色や形、大きさに着目して分類すること ・ものを目的、用途及び機能に着目して分類すること ・丸、三角、四角という名称を知ること ・縦や横の線、十字、△や□を書くこと ・形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること	①	(知)身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付ける。 (思)身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして形の性質に気付く力を身に付ける。 (学)図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 グループ 個別	9
1学期授業時数					19.5
2 学期	「数と計算の学習をしよう6」 (数と計算) ・同じ・多い・少ないについての学習 ・1対1対応、1対多対応 ・ものの数と数詞を対応させること ・ものの数や数詞と数字を対応させること ・ものを数えたり、書き表したりすること ・数の大きい小さいが分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	(知)5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付ける。 (思)日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。 (学)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 グループ 個別	10.5
	「測定の学習をしよう3」 (測定) ・長さ、重さ、高さ、広さなどの量の大きさの理解 ・二つの大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること ・生活経験や経験を通して、長い・短い、重い・軽い、高い・低い、広い・狭いの用語の理解	①	(知)身の回りにおける具体物の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付ける。 (思)量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を身に付ける。 (学)数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 グループ 個別	12
2学期授業時数					22.5
3 学期	「データを活用しよう3」 (データの活用) ・身近なものを目的、用途、機能に着目して分類 ・身近なものの色や形、大きさ、目的、用途に関心に向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること ・ものとものを対応させることによって、ものの同等や多少が分かること(例:コップと歯ブラシなど「組になるもの」) ・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表に慣れること(例:的当てなど)	①	(知)身の回りのものや身近な出来事につながりに関心をもち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付ける。 (思)身の回りのものや身近な出来事につながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を身に付ける。 (学)数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 グループ 個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	数学 (B)	① ゆっくり学ぶ子の「さんすう」4 (同成社)			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(学) 数学的な活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「数と計算の学習をしよう5」 (数と計算) ・100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること ・数を2ずつや5ずつのまとまりで数えること ・数を10のまとまりで数えること、10のまとまりと端数に分けて数えたり書いたりすること ・具体物を分配したり等分したりすること	①	(知) 20までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら、学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10
	「図形の学習をしよう3」 (図形) ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと ・傾斜をつくると角ができること ・扇形の教材で学習 ・ミニカーを傾斜を変えて走らせること		(知) 身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を身に付ける。 (学) 図形や数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。		
1 学期授業時数					19.5
2 学期	「数と計算の学習をしよう6」 (数と計算) ・10の補数が分かること ・加法の合併や増加についての理解 ・加法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・1位数と1位数の加法の計算 ・1位数と2位数の和が20までの加法の計算 ・減法の求残や減少についての理解 ・減法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・20までの数の範囲で減法の計算	①	(知) 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いられるながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう3」 (測定) ・比べ方の学習 (直接比較、間接比較) ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること ・0cmずつ切る学習 ○時刻や時間 ・アナログ時計、時刻の読み方 ・時間の単位 (日、午前、午後、時、分) について 知り、それらの関係の理解 ・朝、昼、晩、昨日、今日、明日の区別 ・タイマーの理解 ・カレンダーの学習 (日付や曜日などの理解) ・日常生活における時間の計画立て		(知) 身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。		
2 学期授業時数					22.5
3 学期	「データを活用しよう3」 (データの活用) ・ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること ・天気調べ、ボウリング遊び等 ・事柄の多少を棒グラフに表すこと		(知) 身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	数学 (C)	①ゆっくり学ぶ子の「さんすう」5 (同成社)			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 日常の事象を数理的に捉え見直しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(学) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「数と計算の学習をしよう5」 (数と計算)</p> <p><b>整数の表し方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりに分割して数える(千まで)こと</li> <li>・分類(色や形、位置、種類など)して数えること</li> <li>・3位数の表し方についての理解</li> <li>・数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについての理解</li> <li>・数直線上の目盛を読んだり、理解すること</li> <li>・一つの数をほかの数の積として考えること</li> </ul> <p><b>整数の加法及び減法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数並びに4位数の加法及び減法の計算並びに筆算</li> <li>・加法及び減法に関して成り立つ性質についての理解</li> <li>・計算機の使用</li> </ul>	①	<p>(知) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。</p> <p>(学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。</p>	学級個別	10
	<p>「図形の学習をしよう1」 (図形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線、三角形、四角形、正方形、長方形及び直角三角形について知ること</li> <li>・正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解すること</li> <li>・直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現すること</li> <li>・図形を書いたり、簡単な図表を作ったりすること</li> <li>・物差しやコンパスなどを使用した作図</li> <li>・正方形、長方形及び直角三角形を書いたり、作ったり、それらを使って平面に敷きつめたりすること</li> <li>・平面を組み合わせて、立体を作ること</li> </ul>		<p>(知) 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることについての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を身に付ける。</p> <p>(学) 図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。</p>	学級個別	9.5
1学期授業時数					19.5
2 学期	<p>「数と計算の学習をしよう6」 (数と計算)</p> <p><b>整数の乗法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法が用いられる場合や意味について知ること</li> <li>・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること</li> <li>・乗法に関して成り立つ簡単な性質の理解</li> <li>・九九について知り、1位数×1位数がでできる</li> <li>・九九について知り、1位数×1位数の計算をすること</li> </ul>	①	<p>(知) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。</p>	学級個別	10.5
	<p>「測定の学習をしよう3」 (測定)</p> <p><b>量の単位と測定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目盛の原点を対象の端に当てて測定すること</li> <li>・(mm, cm, m) や (g, kg)、(ml, dl, l) について知り、測定の意味を理解すること</li> <li>・長さ、重さ及びかさについて、おおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること</li> </ul> <p><b>時刻と時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の単位(秒)について知ること</li> <li>・日常生活に必要な時刻や時間を求めること</li> <li>・時系列の整理(文を見て、時刻を表すなど)</li> <li>・カレンダー学習(今日、今週、今年などの理解)</li> </ul>		<p>(知) 身の回りにおける長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。</p>	学級個別	12
2学期授業時数					22.5
3 学期	<p>「データを活用しよう3」 (データの活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにおける数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすること</li> <li>・天気調べ、気温調べ、体力づくりの記録、ボウリング遊び、アンケート集約等</li> <li>・事柄の多少を棒グラフに表すこと</li> </ul>		<p>(知) 身の回りにおけるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。</p> <p>(学) データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。</p>	学級個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部第3学年 単一類型	音楽	①おんがく☆☆☆			
目標	<p>(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。</p> <p>(学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	<p>「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」</p> <p>・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」を通しての挨拶</p> <p>「朝の会の歌、帰りの会の歌」</p> <p>・呼び掛けと答えを取り入れた発声の練習</p> <p>「季節の歌」</p> <p>「学校行事に向けての歌」</p> <p>「エコソング」</p> <p>「音楽に合わせた身体表現」</p> <p>「ボディーパーカッション」</p> <p>(表現「歌唱」「身体表現」)</p> <p>・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現</p> <p>・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現</p> <p>・様々な歌を通して友達との関わり合い</p>		<p>(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などの関わりについて、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができる。</p> <p>(学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う身に付ける。</p>	学級グループ	
1学期	<p>「いろいろな楽器について知ろう」</p> <p>(表現「器楽」「音楽づくり」)</p> <p>・様々な楽器・名称の理解</p> <p>・実物の楽器に触れる体験活動</p> <p>・映像や教師による楽器演奏の鑑賞</p> <p>・打楽器、旋律楽器、鍵盤楽器での自由演奏や伴奏に合わせた合奏</p> <p>・いろいろな音の響きの特徴を知る活動</p> <p>・設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして、簡単な音楽を作る活動</p>	①	<p>(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりについて、和音としての響きや旋律を奏でる楽しさを味わうことができる。</p> <p>(思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。</p> <p>(学) 楽器を演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	11
	<p>「たのしくコンサート7」</p> <p>(鑑賞)</p> <p>・歌唱表現や小合奏の演奏の発表</p> <p>・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞</p>	①	<p>(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。</p> <p>(思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。</p> <p>(学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	2
1学期授業時数					13
2学期	<p>「みんなで演奏しよう3」</p> <p>(表現「器楽」)</p> <p>・様々な打楽器の自由演奏やリズム打ちの練習</p> <p>・伴奏や友達に合わせることを意識した合奏練習</p>	①	<p>(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりについて、リズムや速度を意識して、音を合わせて演奏することができる。</p> <p>(思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。</p> <p>(学) 友達と演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	12
	<p>「たのしくコンサート8」</p> <p>(鑑賞)</p> <p>・たのしくコンサートに向けての練習</p> <p>・歌唱表現や小合奏の演奏の発表</p> <p>・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞</p>	①	<p>(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。</p> <p>(思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。</p> <p>(学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	3
2学期授業時数					15
3学期	<p>「卒業証書授与式の歌を練習しよう3」</p> <p>(表現「歌唱」「身体表現」)</p> <p>・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習</p>		<p>(知) 曲の雰囲気と歌詞で表されている情景やイメージとの関係に気付く、友達と合わせることを意識し、思いや意図にふさわしい動きで表現することができる。</p> <p>(思) リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、歌唱や身体表現について思いや意図をもつことができる。</p> <p>(学) 歌唱や身体表現で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	5
	<p>「たのしくコンサート9」</p> <p>(鑑賞)</p> <p>・歌唱表現や小合奏の演奏の発表</p> <p>・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞</p>	①	<p>(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。</p> <p>(思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。</p> <p>(学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年  単一類型	美術	①「たのしい工作教室 木のぞうけい教室」(さえら)			
目標	(知) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 (思) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 (学) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「Tシャツのデザインをしよう3 (プリント)」 ・モダンテクニックと描画の技法を組み合わせた作品の作成 ・作品をTシャツに転写 ・作品の鑑賞	①	(知) モダンテクニック (デカルコマニー、スパッタリング、マープリング、フロッタージュなど) の特徴や方法を理解し、表現することができる。 描画とモダンテクニックを作成し、一つの画面に取り入れることができる。 (思) モダンテクニックと描画の技法を組み合わせ、テーマに沿った表現を色や構成 (画面の入り方など) を工夫し表すことができる。 作品を使用することで、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) 集団行動の場面でTシャツを着用することで、良さや面白さを感じたり、互いに認め合ったりすることができる。	学級	7
	「張り子をしよう」 ・和紙の染め ・風船や食品トレーなどの上への和紙や新聞紙などの貼り付け ・皿やランプシェードなどの制作 ・作品の鑑賞		①	(知) 張り子の全工程を知り、和紙を適度な大きさにちぎったり、ちぎった和紙をのりて隙間なく貼ったりすることができる。 (思) 貼る和紙の色や位置を工夫し、自分のイメージを表すことができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) 張り子を通して、創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級
1 学期授業時数					13
	「思い出を表現しよう」 ・立体作品の作成	①	(知) 立体作品を作ることを通して、基本的な道具の扱い方を理解し、扱うことができる。 (思) 経験したことを振り返りながら、材料の使い方を工夫しようとするすることができる。 (学) 友達と協力しながら、進んで取り組もうとすることができる。	学級	7
	「木工作品を作ろう」 ・のこぎりや金づちの扱いの理解 ・木片をのこぎりで切る、金づちで釘を打つ、木片をボンドで貼るなどの練習 ・テーマ、デザインの検討 ・様々な材料や用具を用いた制作活動 ・作品の鑑賞		①	(知) 材料や用具の使用法を知り、適切に使用しながら、木を加工し作品を作り上げることができる。 (思) 作品の完成図をイメージするとともに、木を切ったり貼ったり、組み合わせたりしながら、作品に表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、木の加工方法に気付くことができる。 (学) 木の加工活動を通して、より良い作品を目指そうとする態度を身に付ける。	学級
2 学期授業時数					8
3 学期	「みんなで思い出の作品を作ろう」 ○学年 (グループ) で3年間の思い出を表現した作品の共同制作 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いての描画活動 ・段ボールなどを用いての立体作品の制作活動 ・作品の鑑賞、展示	①	(知) 自分の担当する部分が、作品のどの部分になるのかが分かって材料や用具の扱い方に親しみながら作成することができる。 (思) 友達の表現方法を見て、自分の表現を工夫することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) 友達と一緒に活動していることを実感し、協力しながら作品を作ることができる。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					28

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第3学年 単一類型	保健体育	①改定新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう (ひかりのくに)			
目標	(知) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。 (思) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。 (学) 運動に進んで取り組み、きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「自分の体を知ろう」 「病気を予防しよう」 (保健) ・自分の体についての理解 ・身体の成長 ・健康な生活についての理解 ・病気のけが、体調の変化	①	(知) 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) 自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を身に付ける。		
1学期	「集団で運動するときのきまりを知ろう3」 (体づくり運動) ・集団行動 ・集合・整列 ・ラジオ体操 ・新体力テスト		(知) 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 (思) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付け器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。	学級グループ個別	5
	「器械・器具を使つての運動3」 ・様々な運動領域を取り入れたサーキット運動 ・マット ・平均台 ・跳び箱 ・ゴム跳び ・ケンケンパ ・ミニハードル ・ラダー ・ユニジャンプ ・蛇腹トンネル ・太鼓橋 ・ウレタンマット ・ボール入れ		(知) 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 (思) 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようすることができる。	学級グループ個別	6
	「水泳3」 (水泳運動) ・準備運動 ・アクアビクス ・水中歩行 ・パタ足 ・蹴伸び ・補助具を使用した練習 ・呼吸しながら泳ぐ練習 ・各種泳法の指導		(知) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (思) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。 (学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	学級グループ個別	2
1学期授業時数					13
2学期	「水泳3」 (水泳運動) ・準備運動 ・アクアビクス ・水中歩行 ・パタ足 ・蹴伸び ・補助具を使用した練習 ・呼吸しながら泳ぐ練習 ・各種泳法の指導		(知) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (思) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。 (学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	学級グループ個別	2
	「運動会練習3」 (走・跳の運動・表現運動) (器械・器具を使つてサーキット等の運動、ボールを使った運動やゲーム、体づくり運動をローテーション)		(知) 基本的な運動や表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 (思) 基本的な運動や表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な運動や表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	学級グループ個別	6
	「ボールを使った運動3」 ・ボールを使った体ほぐし運動 ・ドリブル ・パス ・パス回し ・キャッチ ・シュート		(知) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 (思) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	学級グループ個別	7
2学期授業時数					15
3学期	「体づくり運動3」 ○体づくり運動 ・ダンス ・フラフープを使用した運動 ・棒体操		(知) 基本的な体づくり運動や表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 (思) 基本的な体づくり運動や表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動や表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	学級グループ個別	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	保健体育（体づくり）			
目 標	(知) 継続して体を動かす活動を通して、筋力や持久力などを高めるとともに、健康を保持するための運動習慣を身に付ける。 (思) 自分の体についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 (学) 各種の運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「しっかり体を動かそう3」 ・ラジオ体操 ・トラック走（目標周回数や目標時間を決めてのランニング・ウォーキング） ・ミニハードル、ゴム跳び ・ダンス、エアロビクス ・腹筋運動、背筋運動、腕立て伏せ ・エアロバイク ・縄跳び ・ストレッチ ・運動会の時期は運動会練習 など 上記の例の中から実態に応じて選択する。	(知) 継続して体を動かす活動を通して、筋力や持久力などを高めるとともに、健康を保持するための運動習慣を身に付ける。 (思) 自分の体についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりすることができる。 (学) 各種の運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。	学級 個別	19.5
2 学 期			学級 個別	22.5
3 学 期			学級 個別	10.5
総授業時数				52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	自立活動			
目標	障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培うことができる。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 「1 健康の保持」 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事。 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5)健康状態の維持・改善に関する事。 「2 心理的な安定」 (1)情緒の安定に関する事。 (2)状況の理解と変化への対応に関する事。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。 「3 人間関係の形成」 (1)他者とのかかわりの基礎に関する事。 (2)他者の意図や感情の理解に関する事。 (3)自己の理解と行動の調整に関する事。 (4)集団への参加の基礎に関する事。	個別の指導計画に基づく	学級 個別	45.5
2 学期	「4 環境の把握」 (1)保有する感覚の活用に関する事。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。 「5 身体の動き」 (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。 (3)日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4)身体の移動能力に関する事。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。		学級 個別	52.5
3 学期	「6 コミュニケーション」 (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事。 (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。		学級 個別	24.5
総授業時数				122.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第3学年 単一類型	総合的な学習の時間			
目標	<p>(知) 社会を取り巻く事象や地域社会、働くことについて、興味・関心をもったり、課題の解決に必要な知識や技能を身に付けたりする。</p> <p>(思) 自分たちが活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり表現したりする。</p> <p>(学) 自分で判断し、行動する意識を高めるとともに、他者と協働して課題を解決しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「総合的な学習の時間について知ろう3」 ・ICT機器の活用 ・オリエンテーション	(知) 総合的な学習の時間で行う内容を知ることができる。 (思) 総合的な学習の時間で行う内容について、楽しい学習内容を選択したり、他者に伝えたりすることができる。 (学) 総合的な学習の時間について、期待感をもつことができる。	学級	1
	「職場の見学をしよう2」【進路学習】 ・インタビュー ・フィールドワーク ・校外学習 ・場所や日程、見学時のマナーについて ・体験の練習 ・作業所見学（広島作業所） ・見学内容を振り返り、新聞等にまとめる	(知) 働くことについて、興味・関心を持ち、集団の一員としての参加には、義務と責任が伴うことを理解する。 (思) 働くことの大切さや苦勞を理解するとともに、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めながら、他者と協働して解決しようとする。	学級 グループ	8
	「高等部について知ろう」【進路学習】 ・高等部の生活と学習について	(知) 高等部について、興味・関心を持ち、知ることができる。 (思) 高等部について、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	2
	「平和について考えよう3（世界の平和）」 ・グループワーク ・世界の平和	(知) 世界の平和について知り、食事や学校生活など戦争時の状況を知る。 (思) 日本と世界を比べたり、世界の子どもの思いについて考えたり、家族の命を奪われた子どもたちの気持ちを考えたりすることができる。 (学) 家族や人、食べ物、物などを大切にしようとするすることができる。	学年 学級 グループ	2
1 学期授業時数				13
2 学期	「自分と友達の良さを見付けよう3（友達）」 【進路学習】 ・グループワーク ・友達の良いところを考える（名刺等〈中1〉とサークル〈中2〉を参考にする） ・他己紹介カード、寄せ書きなどの制作 ・発表、交流	(知) 他者のよさや可能性に気付き、協力し合える人間関係を築くことができる。 (思) 自己と他者の個性を尊重することを通して、他者への思いやりを深めることができる。 (学) 自己理解を一層深めるとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	学級	7
	「高等部文化祭について知ろう3」【進路学習】 ・高等部の生活と学習について	(知) 高等部について、興味・関心を持ち、知ることができる。 (思) 高等部の文化祭などから、考えたことをまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 文化祭などの活動に積極的に活動に参加ができる。	学級	3
	「入学者選考について知ろう」【進路学習】 ・内容や日程等の学習 ・面接時のマナー等	(知) 入学者選考について知り、見通しをもつことができる。 (思) 面接練習等で自己表現するために、話す内容やマナー等を考えることができる。 (学) 高等部進学に向けて、期待感をもつことができる。	学級 グループ	5
2 学期授業時数				15
3 学期	「入学者選考について知ろう」【進路学習】 ・面接練習	(知) 入学者選考について知り、見通しをもつことができる。 (思) 面接練習等で自己表現するために、話す内容やマナー等を考えることができる。 (学) 高等部進学に向けて、期待感をもつことができる。	学級 グループ	2
	「高1から学ぶ」【進路学習】 ・授業見学日程等について学ぶ ・高等部の授業見学 ・振り返り	(知) 高等部について、興味・関心を持ち、知ることができる。 (思) 高等部について、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	5
3 学期授業時数				7
総授業時数				35